



JAFSネパール ワークキャンプ

## 飲料水「水道パイプライン」プロジェクト支援 ワークキャンプ

実施日程： 2015年2月19日(木)～2月26日(木)

参加費： 現地費用 116,000円 (会員価格 110,000円) + 渡航費用別途

※航空券をご自身で航空券予約をおこなう方はご相談ください

定員：15名 (最小催行人数5名) 対象：中学生以上

締切：2015年1月19日 (締め切り後も受け付ける場合があります。お問い合わせください)

企画：公益社団法人アジア協会アジア友の会

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-2-14 肥後橋官報ビル 5F

TEL：06-6444-0587 / FAX：06-6444-0581

# ネパール「水道パイプライン」ワークキャンプ

国土の 80%が山間地であるネパール、国土の年間雨量は少なくはないが山が多いネパールではその水を人々が十分に使うことができる設備が整っておらず、飲料数にも困る人々が多いのが現状です。今回のワークキャンプではカトマンズより東に 60 キロのシンドウパルチョーク郡の山間地に住むボテシパ村の人々が日々の飲料水、生活水として利用できる水道パイプラインの設置作業にかかわります。又 40 回記念としてネパールの人々とともにタイムカプセルを埋めます。ネパールで、私たちが今できることを考えるきっかけとなると同時に思い出深いゴールデンウィークにしましょう。

## 日程（案）

	地名	現地時刻	交通機関	内容(宿泊)	朝食	昼食	夕食
2/19 (木)	カトマンズ  シンドウパルチョーク郡ボテシパ村		専用車	午前中までにカトマンズ到着  着後、ワーク地へ移動 宿泊用意、村散策  (ボテシパ村泊)			ワーク地
2/20 (金) ～ 2/23 (月)	シンドウパルチョーク郡ボテシパ村	終日		水道パイプラインの建設作業ワーク、村の散策  最終日には現地の人たちとの交流会を行います  (ボテシパ村泊)	ワーク地	ワーク地	ワーク地
2/24 (火)	シンドウパルチョーク郡ボテシパ村 タトパニ  カトマンズ	午前  夕刻	専用車	朝食後、ワーク地片づけ タトパニへ向けて出発 中国との国境地タトパニ(タトパニとは温泉の出るところを意味します)観光 夕刻 カトマンズへ移動  (HOTEL MOUNTAIN 泊)	ワーク地	道中	レストラン
2/25 (水)	カトマンズ	終日		カトマンズ盆地散策 今回のまとめの会・フェアウェル夕食会  (HOTEL MOUNTAIN 泊)	ホテル	自由	レストラン
2/26 (木)	カトマンズ  バンコク			帰国の途へ	ホテル	—	—

※現地受入先の諸事情で日程表の発着日、発着時間、交通機関、旅行経路等は変更が生じる場合があります。

## 実施要項

### ◆ 参加対象

- ①心身共に健康な男女
- ②アジアの生活に馴染む事の出来る順応性ある方
- ③団体行動における協調性のある方

### ◆ 申し込み方法

参加申込書に必要事項を記入の上、パスポートのコピー・申込金（3万円）を添えて、事務局までご持参くださるか、又は、現金書留で事務局宛お送り下さい。

### ◆ 参加費支払い方法

申込金（3万円）は参加費用に含まれます。残金は出発日2週間前（又は本会提示日）までに下記口座にお振込み又は、事務局までご持参ください。振込手数料はご負担願います。

### ◆ キャンセルについて

- ①申込書及び申込金の受領によって正式申し込みといたします。
  - ②参加者の都合による参加辞退の場合、キャンセル料は以下のように申し受けます。
    - ・ 出発30日～11日前に申し出の場合申込金（3万円）
    - ・ 出発10日～3日前申し出の場合、全参加費用の30%
    - ・ 出発 2日～1日前申し出の場合、全参加費用の50%
    - ・ 出発当日以後に申し出の場合、全参加費用の100%
- \* 但し、キャンプの遂行が不可能な場合は全額をお返し致します。

### ◆ 注意事項

- ①参加費用には受け入れ団体への資金援助費用が一部含まれます。
- ②自由行動中の費用は参加費用に含まれません。
- ③パスポート取得、予防接種、**各国の空港使用料、燃油サーチャージ、自由行動中の費用等は参加費用に含まれません**ので各自ご負担頂きます。
- ④ネパール入国には6ヶ月のパスポート残存期間が必要です。それ以前に有効期限の切れる方は、パスポートの再発行手続きをして下さい。
- ⑤日程その他は、現地受け入れの都合などにより変更される場合がありますので、ご了承下さい。
- ⑥事前にオリエンテーションやしおり作成等の為に集まりを持ちますので、ご協力をお願い致します。

#### ◇お問い合わせ先◇

(社) アジア協会アジア友の会

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-2-1 4 肥後橋官報ビル5F

Tel : 06-6444-0587 / Fax : 06-6444-0581

<http://www.jafs.or.jp> E-mail:asia@jafs.or.jp



ネパール到着  
ナマステ~!(^o^)/~~



世界遺産の見学をおこないます



村に到着すると村の人達からの  
大歓迎がまっています



ボテシパ村は中間山岳  
地帯の山間の村です  
このたび、JAFS が初め  
て支援を開始する地域  
です。



ボテシパ村には十分な水がなく、水が来るのを水瓶を  
おいて順番を待っています



ワーク地までの道中はネパール語の良いレッスン時間に



子どもたちとの交流会では踊りもとび  
だします!!



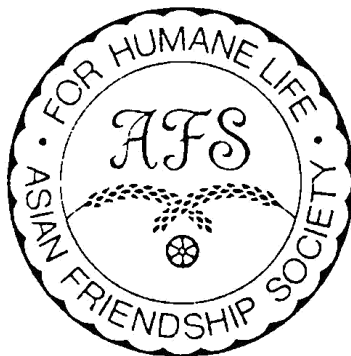
村の子供たちがほとんど通う小・中・高併設の公立学  
校。水場がなくここにも設置します。

## ☞アジア協会アジア友の会のワークキャンプ・スタディーツアーとは・・・

(公社)アジア協会アジア友の会は、1981年に第一回インドワークキャンプを実施して以来、アジアの各地で、現地プロジェクトを支援するワークキャンプを行ってきました。その間、4500名を超える多くの若者たちがアジアの大地で汗を流し、異文化交流の貴重な体験をしてきました。また80年代後半からは、比較的熟年世代や女性の積極的な参加が見られるようになってきました。しかし残念ながら、その実態は参加者以外の者にわかりにくく、なにやら楽しそうだという雰囲気しか伝わってこないことが多いようです。また、ワークキャンプの意義の理解もさまざまです。参加者のなかには「現地の人々に何かしてあげたい」、あるいは「労働貢献をしてくるのだ」と意気込んで乗り込む人もいますし、また一般的にもそのように理解されています。しかし、電気水道完備の快適な生活をしてきた私達に、実際に現地で出来ることはわずかです。インドやその他の発展途上国には、機械も資材も技術もないと思って、そのような認識の延長でワークキャンプを考える人もいます。

しかし実際には、その土地に見合った資材、技術、人材があり、現地では何かのプロジェクトを実施するにあたって必ずしもワークキャンプを必要としているわけではないという現実と直面します。更には、現地で大げさなセレモニーやお客様扱いを受けて、一体なんのために自分は来たのだらうと戸惑うことにもなるわけです。では、一体何のためにワークキャンプをするのでしょうか？ ワークキャンプは現地に迷惑をかけているだけではないのでしょうか？ 現地と日本側双方にとって有意義な協力のあり方は何なのでしょう？ 今日、人々の間に汗を流して何らかの国際貢献をしてみたいとの気持ちが高まっているなかで、その一つの方法と機会を提供してきたワークキャンプも、その意義や内実について理解を広めていきたいものです。(社)アジア協会アジア友の会は今後ともワークキャンプを行っていきます。しかしそれは、セットツアーではありません。いわば素材を提供しているだけの場合もあるかもしれません。ですから、参加者自身の関わり方で有意義なものとも無意味なものともなりうるのです。そして現地の実状を学んだり、日本での生活を振り返った者にとって、本当の国際交流や貢献は、むしろ日本に帰ってから始まります。

渴くアジアと世界に水を！



**The Japan Asian Association & Asian Friendship Society (JAFS)**

**公益社団法人アジア協会アジア友の会**

〒550-0002

大阪市西区江戸堀 1-2-14 肥後橋官報ビル 5F

Tel : 06-6444-0587 / Fax : 06-6444-0581

URL <http://www.jafs.or.jp> / E-mail [asia@jafs.or.jp](mailto:asia@jafs.or.jp)



